

## 「正解」とは？

校長 鈴木 正彦

二葉小学校の皆さん、5月7日の全校朝会に出した問題を覚えていますか。

イスが6つあります。子どもは10人います。  
座れない子どもは何人いますか？



実は、この問題には唯一の正解はありません。いくつもの正解が考えられます。それでは、どのような正解が考えられるのでしょうか。

多くの皆さんが最初に考えた回答は、「 $10 - 6 = 4$  答え4人座れません」というものだったのではないのでしょうか。算数の問題として考えれば、もちろん、これも一つの正解です。

しかし、これを生活場面として考えてみましょう。座れない子どもがいるのは悲しいから、全員で座るにはどうしたらよいか？という発想で考えるとどうでしょうか？

イスを全部つなげて詰めて座れば全員が座れるのでは？イスとイスの間に板を敷いてみたらどうだろう？そもそも、イスは必要？運動会や遠足のようにシートを敷いて全員で座ったら？座れない子どもがいるのなら、全員で立てばいい等、たくさんの考えが浮かんできます。

この問題を通して、二葉小学校のみなさんに伝えたいことは、次の3つです。

- 1 「前提」を外してみるとということです。「座れない」子どもが必ずいると考えれば、どうしても4人という回答になります。しかし、「座れない」という前提を外して、「みんな座れる」と考えれば、考えは無限大に広がります。ぜひ、考えるのに行き詰ったとき、最初の「前提」を疑ってみることが大切です。
- 2 そもそも、私たちが生活しているこの世の中のほとんどのことが、正解は一つではありません。学校生活で考えても、友達とけんかをしたとき、どのように仲直りをすればよいのか、最初にかける言葉はどんな言葉がいいのか？どうしても都合が悪い時、友達からの誘いを断るには、どう断ったらよいのか？新生活様式の中でどのように運動会を実施すればよいのか等、挙げればきりがありません。常に正解は一つではないことを心にとめて生活していきましょう。きっと、新しい自分なりの「正解」がいくつも見つかることでしょう。
- 3 常に、みんなで笑顔になるためにはどうしたらよいか？ということを考える二葉小学校の皆さんでいてほしいことです。悲しい思いをする人を、一人でも出さない、そんな二葉小学校でありたいと思います。

5月下旬には運動会が予定されています。新生活様式の中で限られた条件の中での準備・実施となりますが、二葉小学校の303名の気持ちを一つにして運動会の成功に向けて取り組んでいきましょう。

「正解」は、無数にあるのですから。

